

# はは歯クラブだより



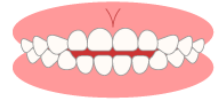
NO. 152

こんにちは！  医療法人 **ゆきなり小児・矯正歯科**です。



前回指しゃぶりは歯並びにも影響がでることまでお話ししました。  
では実際にはどのような影響がでるのでしょうか。

指しゃぶりを続けていると、奥歯で咬んだとき前歯がかみ合わない（開咬）などの不正咬合をおこしやすくなります。前歯がかみ合っていないと独特な舌の使い方になってしまうので発音が悪くなります。  
よくいわれる「舌たらず」な喋り方です。



他にも舌の使い方に問題があり、発音に支障が出る場合もあります。

例えばサカナ→タカナまたはシャカナと言うなど。

全く問題がないこともあれば、訓練をして正しい発音にしてあげることが必要なこともあります。

一般的には4～5歳くらいが訓練開始の目安だそうです。気になることがあるときは、言語聴覚士という「ことばの専門家」に相談されてみて下さいね。



長与病院、虹ヶ丘病院などで  
子どもの言語訓練がなされています。

詳しくはホームページをご覧ください。  
「ゆきなり小児歯科」で検索すると簡単です。  
<文責：日本小児歯科学会認定歯科衛生士 池田友紀>